



# かたた駅前通信



かたた駅前  
翔裕館  
2025年  
9月発行



## 敬老祝賀会で ご長寿をお祝い



9月15日(月)敬老祝賀会を開催しました。ご入居者皆様でお祝い膳を召し上がっていただき、午後からは、賀寿の方の表彰及びボランティアの方によるウクレレ演奏。誰もが口ずさむことができるような、懐かしの歌を演奏してくれて、皆様昔を思い出しながら熱唱☆ その後は恒例ビンゴゲーム！包装紙でラッピングされて、中身が見えない豪華景品！？を狙って、職員も一緒に夢中になりました！景品は、並んである複数の中から、ビンゴになった方が自分で選ぶ形式。入居者様、職員それぞれ「ビンゴ！」の声が飛び交い、景品選びでは、大きな箱がいいのか、小さくても豪華景品が入っているのか・・・ただ、当選された方、皆様ラッピングを空けて中身を確認し、とても喜ばれていました！！

## 滋賀県最高齢

## 記念式典も開催！



当施設にご入居されている入居者様(110歳！)が現在滋賀県内最高齢であることから、記念式典を行いました！  
記念式典には滋賀県の三日月知事、大津市の佐藤市長がお祝いに来てくださいました。また、テレビ局や新聞社による取材などがあり、大変盛大な式典となりました。

## “翔裕館”で湖族祭りに 出店しました！

8月2日、かたた駅前翔裕館、かすがやま翔裕館、琵琶湖大橋翔裕館Ⅰ号館・Ⅱ号館、北おごと翔裕館合同で、堅田最大のお祭りである「湖族祭り」に出店しました！！  
当日は青一色の空の下、午前中から準備開始。翔裕館のロゴ入りのタープを設置し、机を並べ椅子を並べ・・・参加した職員は汗だくでの作業。無事設置完了し、15時よりいよいよ祭り開始！翔裕館としては、かわいい熊のドリンクボトルに好きな飲み物を注文していただき販売☆1個500円の値段で、開始当初は暑さのせいか、お客様もまばらで「やばい。。相当数売れ残ってしまうのでは。。」と心配したものの、夕方より人が増え始め、気が付けば注文が次々に殺到！用意していた100個が営業終了時刻よりも前に無事売り切ることが出来ました！その後、堅田漁港から打ちあがる花火を満喫！地域の方にも「翔裕館」を知っていただき、地域を盛り上げる一役を担うことが出来ました！！

地域貢献活動のご依頼  
お待ちしております！

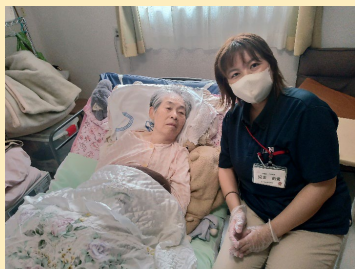


## 今期の感動介護職員

## 兒玉看護師

## 感動介護エピソード

## 「深く理解し寄り添うこと」



## 「感動介護」とは

利用者様やご家族に感動してもらえるような介護を提供すること。サンガジャパンではグループ全体で「感動介護」を理念に掲げ、理念実現のための行動指針に沿った介護の提供を目指しています。

5月末に比叡ユニットご入居者様が意識レベル低下により病院に入院となりました。施設のパート看護師としてご入居者様の体調管理にはいつも気を配ってくれている兒玉職員にとって、入院中の状況はとても気になっていた様子。入院から3週間ほど経過した際に病院からの報告として食事がとれずIVH（中心静脈栄養法）で対応しているとの連絡が入りました。その際に対応してくれた病棟職員からは、現状IVHの患者様で劇的に回復するのは正直難しいかもの見解。数日後、病院から連絡があり、少しずつ経口摂取が可能となっており、炎症反応も落ち着いてきているので何とか施設に戻ってこられる状態にはなっているとのこと。ただ、現状ベッド上でほとんどの時間横になられている状態であることも事実。家族様としては、暮らし慣れているかたた駅前翔裕館に戻りたいとの意向を確認し、受け入れの準備をしつつ、戻ってこられる前日、兒玉看護師は入院中の病院に行き状況確認に行きました。状態的には入院前よりADLは大幅に低下し大きな褥瘡3か所、上下肢ともに拘縮が進んでいる状態で、寝たきりに近い状態。何よりも戻ってこられた場合、褥瘡処置等で看護師の役割が質・量ともかなり増加が見込まれる状況。その状況下において兒玉看護師の心の中は「戻ってこれてよかった!!戻ってきたら治療・介護を頑張らなければ!!」の想いしかなく、今まで以上に大変になるとの考えは全くありませんでした。

7月1日に無事病院から戻ってこられ、介護もちろんですが、医療的な処置がかなりある状況においても、毎朝出勤すると一番の様子を見に駆け付け笑顔で話しかけながら懸命に処置をしてくれている兒玉看護師。ご入居者・ご家族の想いを深く理解し常に寄り添った看護をしてくれています。

## かたた駅前こぼれ話

## 「Good・Moreカード」

かたた駅前翔裕館の比叡ユニット入り口のホワイトボードに、小さな用紙がたくさん貼りだされています。これは、西日本の翔裕館で取り組んでいる「Good・Moreカード」です。職員相互に、いい言葉使いをされていたり、いいケアをされていた場合はgoodカードに記入、逆に改善が必要な言葉使いやケアをしている職員がいた場合はmoreカードに記入するようにしています。goodカードについては、記入することで他の職員が真似をできるように、moreカードは、ただ指摘するだけではなくて、「こうすればよくなりますよ。」と改善方法の提案も記入するようにしています。「言葉使いが変われば介護が変わる。」を合言葉に、日々ご利用者様により良いケアを提供させていただくために取り組んでいます。ご来館される機会があれば、一度目にしてみてくださいと思います。



## お知らせ

## &lt;研修室・応接室の地域開放をはじめました&gt;

堅田駅周辺でミーティングルームをお探しの方へ、かたた駅前翔裕館の研修室と応接室を開放します。

利用料金：130円/1時間

月曜～土曜（9:00～17:00）※事前予約制

お問い合わせ先 ☎077-571-6555（田中まで）

Instagramのフォローよろしくお願いします。



Instagram  
はこちら!



@KATATAEKIMAE.SANGA

グループホーム/居宅介護支援事業

かたた駅前翔裕館

滋賀県大津市本堅田6-31-29

TEL 077-571-6555

FAX 077-571-6553



ホームページ



求人申込